【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公開番号】特開2006-20702(P2006-20702A)
【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-004
【出願番号】特願2004-199339(P2004-199339)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ａ６１Ｂ　1/04　３６２Ｚ
Ａ６１Ｂ　5/07

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月11日(2007.6.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
自由空間において所定の基準方向に重力が印加されるよう形成されており、被検体内に導入されて被検体内部の情報である被検体内情報を取得する被検体内導入装置であって、
前記基準方向を定める加重部材と、
前記基準方向を含む範囲の被検体内情報を取得する第１被検体内情報取得手段と、
を備えたことを特徴とする被検体内導入装置。
【請求項２】
前記第１被検体内情報取得手段における情報取得方位と異なる範囲の被検体内情報を取得する第２被検体内情報取得手段をさらに備え、
前記第１被検体内情報取得手段は、前記第２被検体内情報取得手段の情報取得対象よりも近距離の対象に関する被検体内情報を取得することを特徴とする請求項１に記載の被検体内導入装置。
【請求項３】
前記被検体内情報は、被検体内部の所定の領域を撮像することによって取得される被検体内画像であって、
前記第１被検体内情報取得手段は、所定の受光面に対して外部から入射する光を結像する第１光学系を備え、前記第２被検体内情報取得手段は、他の受光面に対して外部から入射する光を結像する第２光学系を備え、前記第１光学系は、前記第２光学系よりも受光面に対して結像性能が最良となる物体面までの距離が短いことを特徴とする請求項２に記載の被検体内導入装置。
【請求項４】
前記第１光学系は、前記第２光学系よりも大きい焦点深度を有することを特徴とする請求項２または３に記載の被検体内導入装置。
【請求項５】
少なくとも第１被検体内情報取得手段に対して駆動電力を供給すると共に、前記加重部

材として機能する電力供給手段をさらに備えたことを特徴とする請求項１～４のいずれか一つに記載の被検体内導入装置。
【請求項６】
前記電力供給手段は、電池であることを特徴とする請求項５に記載の被検体内導入装置。
【請求項７】
当該被検体内導入装置の位置検出用の磁場を形成する機能を有すると共に、前記加重部材として機能する磁場形成手段をさらに備えたことを特徴とする請求項１～４のいずれか一つに記載の被検体内導入装置。
【請求項８】
前記磁場形成手段は、永久磁石であることを特徴とする請求項７に記載の被検体内導入装置。
【請求項９】
自由空間において所定の基準方向に重力が印加されるよう形成されており、被検体内に導入されて被検体内部の情報である被検体内情報を取得する被検体内導入装置と、該被検体内導入装置から送信された無線信号を受信する受信装置とを備えた被検体内導入システムであって、
前記被検体内導入装置は、
前記基準方向を定める加重部材と、
前記基準方向を含む範囲の被検体内情報を取得する第１被検体内情報取得手段と、
取得された被検体内情報を含む無線信号を送信する送信手段と、
を備え、
前記受信装置は、
受信した無線信号の受信処理を行う受信回路と、
前記受信回路から出力された信号に所定の処理を行うことによって被検体内情報を抽出する信号処理手段と、
を備えたことを特徴とする被検体内導入システム。
【請求項１０】
前記被検体内導入装置は、位置検出用の磁場を形成する機能を有すると共に、前記加重部材として機能する磁場形成手段をさらに備え、
前記受信装置は、
前記磁場形成手段によって形成された磁場を測定する磁場測定手段と、
前記磁場測定手段の測定結果に基づいて前記被検体内導入装置の位置を導出する位置導出手段と、
をさらに備えたことを特徴とする請求項９に記載の被検体内導入システム。